

# 「いきいき いばらき生活大県プラン」 (前総合計画) の最終評価結果について (概要)

－ いきいき いばらき生活大県プラン －  
【 生活大県プロジェクト 】  
【 数 値 目 標 】



茨 城 県

# 「いきいき いばらき生活大県プラン」の最終評価結果について

## 1 県総合計画の進行管理

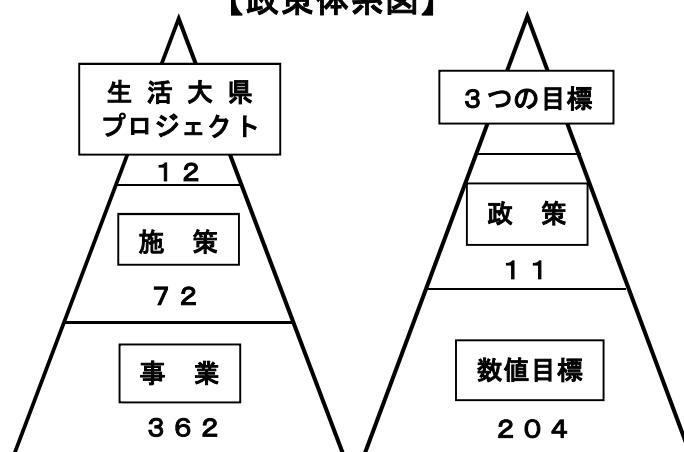
前総合計画「いきいき いばらき生活大県プラン」においては、「生活大県」を実現するため、「生活大県プロジェクト」や「数値目標」の進捗状況を、毎年度分析・評価し、PDCAマネジメントサイクルを活用して計画全体の適切な進行管理を図ることとしていた。

各年度における県総合計画の進捗状況の評価結果については、総合計画審議会に報告し、ご意見をいただいた上で県民に公表するとともに、施策や事業の見直しや次年度の新たな事業等の企画立案に活用した。

【県総合計画のPDCA】



【政策体系図】



## 2 評価の対象と手順

### (1) 生活大県プロジェクトの評価

前総合計画に位置付けた12の生活大県プロジェクトを「生活大県プロジェクトワーキングチーム」において評価し、進捗状況を「順調」、「概ね順調」、「やや遅れ」、「遅れ」の4段階の区分で評価する。

※参考資料1 平成27年度「生活大県プロジェクト（政策）」評価書 参照

### (2) 数値目標の達成状況の評価

前総合計画の3つの目標（住みよいいばらき，人が輝くいばらき，活力あるいばらき）に設定した204項目の数値目標について、年度ごとの目標値である「期待値」に対する達成状況を「A」、「B+」、「B」、「C」の4段階の区分で評価する。

なお、評価においては、「A」及び「B+」評価が概ね期待した成果が得られたと判断するものとし、併せて昨年度（平成26年度評価結果）との経年比較を実施する。

※参考資料2 平成27年度「数値目標の達成状況」の評価結果一覧表 参照

< 参考 >

### 生活大県プロジェクトの評価

○ プロジェクト評価(12PJ)

【評価主体】生活大県プロジェクト  
ワーキングチーム

事業評価及び施策評価の結果，県政世論調査結果などを総合的に勘案し，PJごとに進捗状況の評価。



○ 施策評価(72施策)

【評価主体】生活大県プロジェクト  
ワーキングチーム



○ 事業評価(362事業) \*再掲を含むと432事業

【評価主体】各事業担当課

【プロジェクト評価の区分】

施策評価の結果，A（4点）～D（1点）を点数換算し，平均値をとり判定。

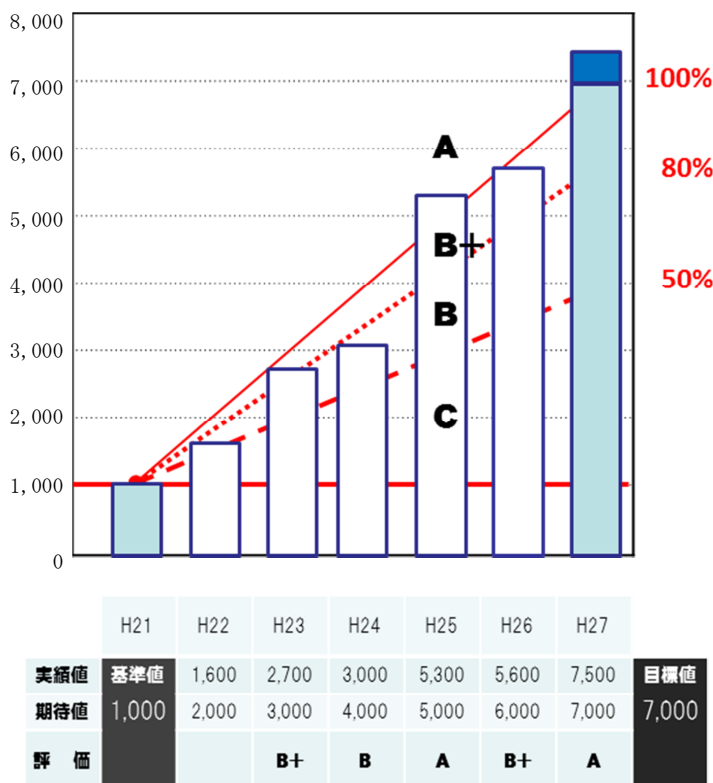
区分	施策評価の平均値
順調	4.00～3.5
概ね順調	3.49～3.0
やや遅れ	2.99～2.5
遅れ	2.5未満

### 数値目標の達成状況の評価

【数値目標の評価区分】

区分	評価基準
「A」評価	「実績値」が「目標値」以上のもの
「B+」評価	「実績値」が「目標値」の80～99%のもの
「B」評価	「実績値」が「目標値」の50～79%のもの
「C」評価	「実績値」が「目標値」の50%未満のもの

※上記基準の「実績値」，「目標値」は，それぞれ「基準値」を控除した値で計算



## 【生活大県プロジェクト（政策）評価結果】

評価	プロジェクト名	評価の主な理由	今後の対応	H26比較
順調	11 アジアへ広がる観光・交流推進PJ	国際観光・広域観光の推進や観光客受入体制の整備、茨城空港の活用などの施策については、宿泊観光入込客数や国際線路線数など目標を上回る成果があがっていることから、評価は「順調」に一段階上がった。	首都圏や茨城空港の渡航先等における情報発信を進めるとともに、観光マイスター制度の推進による人材育成に取り組む。また、外国人観光客の誘客のための情報発信や受入体制の整備を促進する。	▲
	2 暮らしの安全・安心PJ	食の安全・安心確保対策の推進については、期待通りの成果をあげられなかったものの、治安対策の充実や地域防災力の向上、放射線・放射物質への対応、「新しい公共」の活動推進について、順調に成果が出ているため、全体として「概ね順調」の評価となった。	地域づくりの活動促進について、これまでのノウハウを活用しながら「茨城型地域包括ケアシステム」を構築する。また、高齢者の重点的な事故防止方策の実施や、ハサップ・GAP等の導入を促進し、県民の食の安全・安心確保に努める。	➡
概ね順調	4 未来を担う子ども・若者育成PJ	豊かな人間性を育む教育の推進や、いばらきの産業を担う人づくり、青少年・若者の自立支援については、期待通りの成果をあげたことから、「概ね順調」の評価となった。	学校や地域社会等が連携し、確かな学力の定着や豊かな人間性の育成、社会人として自立できる素養の醸成等を図り、本県の未来を担う人づくりを推進する。	➡
	5 高齢者いきいき生涯現役PJ	社会活動の参加促進については、期待された成果があがらなかったものの、高齢者の就職支援や世代間交流の促進、介護予防・健康づくりなどの施策について、期待通りの成果をあげているため、全体として「概ね順調」の評価となった。	高齢者の社会参加や生きがいづくり、健康づくりを推進するとともに、シルバーリハビリ体操の一層の普及に取り組む。また、生活交通の確保や生活環境の改善に向け、関係機関等との連携強化を図る。	➡
	6 低炭素社会実現PJ	交通関連対策の推進については期待通りの成果をあげたものの、廃棄物の発生抑制等の推進については、前年度より評価を一段階下げたことから、「概ね順調」の評価となった。	温室効果ガス削減目標を見直し、地球温暖化対策実行計画を改定するほか、市町村等と連携し、再生可能エネルギーの導入促進や、廃棄物の発生抑制を図るため、ごみの排出量削減と再資源化を推進する。	➡
	8 質の高いライフスタイル創造PJ	人にやさしいまちづくりなどで期待した成果を下回った事業がみられたものの、地域の特色を活かした賑わいのあるまちづくりの推進については、土地活用整理事業や商店街活性化などで期待通りの成果をあげていることから、全体として「概ね順調」の評価となった。	公共施設のバリアフリー化や水道普及率の向上を図り、人にやさしい地域づくりを推進する。また、都市農村交流や地産地消運動の取組推進、地域と連携した公演等の開催、移住施策の戦略的なPR等を推進する。	➡
	9 競争力ある産業育成と雇用創出PJ	国際的な最先端科学拠点の形成や国際競争力ある産業の集積促進については、期待された成果があがっていないものの、商工業の育成や多様な高度な人材の育成確保、災害に強い企業づくりと雇用対策などについて、期待通りの成果があがっていることから、「概ね順調」の評価となった。	県内中小企業の成長分野への参入促進を図るとともに、新技術・新製品の開発支援や海外への販路拡大支援、ベンチャー企業の創業・育成に取り組む。また、企業誘致を積極的に推進し、雇用確保や、産業の活性化、人材の育成・確保に取り組む。	➡
	10 いばらき農業成長産業化PJ	震災・原発事故の影響を受けながらも、農業産出額では7年連続で全国第2位、東京都中央卸売市場における県産農産物シェアも12年連続で全国第1位となったことから、「概ね順調」の評価となった。	ブランド力の強化や6次産業化、輸出等に取り組む革新的な産地づくりと産地を支える経営体の育成に取り組む。また、TPP協定の影響が懸念される畜産や水田農業の国際競争力の強化、中山間地域の創生、地産地消の取組等を推進する。	➡
	12 いばらきイメージアップPJ	いばらきへの愛着心の醸成については、前年度より一段階評価を下げたものの、メディアへの情報発信力の強化や、いばらきサポーターづくりなどの施策については、期待通りの成果をあげたことから、「概ね順調」の評価となった。	風評被害の払拭に向けた情報発信や各種キャンペーン等でのPRに努めるとともに、各種広報媒体の特性を活かして情報発信を行い、県民の愛着心の醸成を図る。	➡
やや遅れ	1 地域医療充実PJ	医師の地域偏在や診療科偏在の問題が顕著化しておらず、また、人口10万人当たりの医師及び看護職員数等が依然として全国低位であるなど、県内の医療体制には多くの課題が残されている状況にあるため、「やや遅れ」の評価となった。	医師等医療従事者の確保対策に取り組むとともに、地域医療支援病院の指定等により医療機関の連携を図り、医療体制の充実に取り組む。また、がん検診受診率の向上のため、地域等での受診勧奨に取り組む。	➡
	3 社会全体で取り組む子育て支援PJ	未婚の男女の出会いの場づくりや子供の人権を尊重する環境づくりについて、期待通りの成果をあげたものの、仕事と生活の調和の推進については、期待された成果があがっておらず、また、子育て支援の充実も、前年度より一段階評価を下げたため、全体として「やや遅れ」の評価となった。	保育所等の整備推進や保育士の確保等に取組み待機児童の解消に努める。また、仕事と生活の調和の推進について、企業に対する取組への支援や意識啓発を行うとともに、貸付事業等の利用拡大を図る。	➡
	7 泳げる霞ヶ浦再生PJ	潤いのある水辺空間の活用については、期待された成果をあげたものの、第6期霞ヶ浦湖沼水質保全計画の最終年度である本年度の霞ヶ浦の水質(COD)が目標を達成できなかったことから、「やや遅れ」の評価となった。	第7期計画に基づき、更なる水質保全対策を推進するとともに、流域すべての関係者が連携して保全対策を実施する流域連携を進める。また、H30開催の世界湖沼会議を契機とした水質保全に向けた県民の機運醸成に努める。	▼

# 評価結果

## 1 総括評価

- 12の生活大県プロジェクトの評価については、「順調」は1プロジェクト(8.3%)、「概ね順調」は8プロジェクト(66.7%)、「やや遅れ」は3プロジェクト(25.0%)、「遅れ」となったプロジェクト(以下「PJ」)はなかった。
- 評価が「やや遅れ」のPJは、「1 地域医療充実PJ」,「3 社会全体で取り組む子育て支援PJ」,「7 泳げる霞ヶ浦再生PJ」の3PJとなった。
- 昨年度(平成26年度評価結果)との比較では,1PJ(8.3%)が上回る評価,10PJ(83.4%)が同様の評価,1PJ(8.3%)が下回る評価となった。



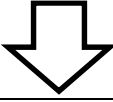
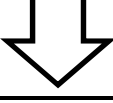

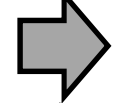
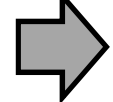



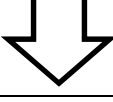



## 2 プロジェクト別評価

- 「11 アジアへ広がる観光・交流推進PJ」については,宿泊観光入込客数や国際線路線数など目標を上回る成果があがっていることから,評価が「概ね順調」から「順調」に一段階上がった。
  - ◆宿泊観光入込客数 : H27 目標 240 万人 H27 実績 534 万人
  - ◆国際線路線数 : H27 目標 5 路線 H27 実績 6 路線
- 「1 地域医療充実PJ」については,医師の地域偏在や診療科偏在の問題が解消しておらず,また,人口10万人当たりの医師及び看護職員数等が依然として全国低位であるなど,県内の医療体制には多くの課題が残されている状況にあるため,評価は昨年度と変わらず「やや遅れ」となった。
  - ◆人口10万人当たりの医師数【H26末現在】 本県 177.7人(全国 46位)
  - ◆人口10万人当たりの看護職員数【H26末現在】 本県 1,009.6人(全国 42位)
- 「3 社会全体で取り組む子育て支援PJ」については,未婚の男女の出会いの場づくりや子供の人権を尊重する環境づくりについて,期待通りの成果をあげたものの,仕事と生活の調和の推進については,期待された成果があがっておらず,また,子育て支援の充実についても,前年度より一段階評価を下げたため,全体として「やや遅れ」の評価となった。
  - ◆子育て応援企業登録数 : H27 目標 450 社 H27 実績 236 社
  - ◆保育所待機児童数 : H27 目標 0 人 H27 実績 373 人
- 「7 泳げる霞ヶ浦再生PJ」については,潤いのある水辺空間の活用について,期待された成果をあげたものの,第6期霞ヶ浦湖沼水質保全計画の最終年度である平成27年度の霞ヶ浦の水質(COD)が目標を達成できなかったことから,評価が「概ね順調」から「やや遅れ」に1段階下がった。
  - ◆第6期霞ヶ浦湖沼水質保全計画 水質目標

西浦 :	H27 目標 7.3 mg/ℓ	H27 実績 7.8 mg/ℓ	(H21 基準値 9.3 mg/ℓ)
北浦 :	H27 目標 7.6 mg/ℓ	H27 実績 8.9 mg/ℓ	(H21 基準値 10.0 mg/ℓ)
- また,「2 暮らしの安全・安心PJ」ほか8つのPJについては,引き続き「概ね順調」の評価となった。

## 【数値目標の達成状況の評価結果】

上段:指標数, 下段:割合

		「A」 評価	「B+」 評価	「B+」 評価以上	「B」 評価	「C」 評価	計	
		100%以上	80~99%	矢印は26評価との割合比較	50~79%	50%未満		
① 住みよい いばらきづくり	(1)医療・保健・福祉が充実した 安心できる社会づくり	13 38.2%	4 11.8%	17 50.0%		9 26.5%	8 23.5%	34 (全 35 指標)
	(2)安全で安心して暮らせる 社会づくり	8 57.1%	3 21.4%	11 78.6%		2 14.3%	1 7.1%	14 (全 14 指標)
	(3)みんなで取り組む地球に やさしい環境づくり	2 18.2%	1 9.1%	3 27.3%		2 18.2%	6 54.5%	11 (全 11 指標)
	(4)人にやさしい良好な生活 環境づくり	5 45.5%	1 9.1%	6 54.5%		3 27.3%	2 18.2%	11 (全 11 指標)
	<b>計 (指標数 71)</b>	<b>28 40.0%</b>	<b>9 12.9%</b>	<b>37 52.9%</b>		<b>16 2.9%</b>	<b>17 24.3%</b>	<b>70 (全 71 指標)</b>
② 人が輝く いばらきづくり	(1)いばらきを担うたくましい 人づくり	15 42.9%	6 17.1%	21 60.0%		3 8.6%	11 31.4%	35 (全 35 指標)
	(2)豊かな人間性を育む 地域づくり	5 45.5%	0 0.0%	5 45.5%		3 27.3%	3 27.3%	11 (全 11 指標)
	(3)互いに認め合い支え合う 社会づくり	3 25.0%	3 25.0%	6 50.0%		1 8.3%	5 41.7%	12 (全 12 指標)
	<b>小計 (指標数 58)</b>	<b>23 39.7%</b>	<b>9 15.5%</b>	<b>32 55.2%</b>		<b>7 12.1%</b>	<b>19 32.8%</b>	<b>58 (全 58 指標)</b>
③ 活力ある いばらきづくり	(1)日本や世界をリードする 科学技術創造立県の実現	3 37.5%	2 25.0%	5 62.5%		1 12.5%	2 25.0%	8 (全 8 指標)
	(2)国内外の競争に打ち勝つ 力強い産業づくり	12 44.4%	5 18.5%	17 63.0%		4 14.8%	6 22.2%	27 (全 27 指標)
	(3)日本の食を支える 食料供給基地づくり	6 31.6%	2 10.5%	8 42.1%		3 15.8%	8 42.1%	19 (全 19 指標)
	(4)人・もの・情報が活発に 行き交う交流社会づくり	11 52.4%	1 4.8%	12 57.1%		6 28.6%	3 14.3%	21 (全 21 指標)
	<b>小計 (指標数 75)</b>	<b>32 42.7%</b>	<b>10 13.3%</b>	<b>42 56.0%</b>		<b>14 18.7%</b>	<b>19 25.3%</b>	<b>75 (全 75 指標)</b>
<b>合計 (総指標数 204)</b>		<b>83 40.9%</b>	<b>28 13.8%</b>	<b>111 54.7%</b>		<b>37 18.2%</b>	<b>55 27.1%</b>	<b>203 (全 204 指標)</b>

※総指標数は204であるが、制度改正により評価ができないものが1指標あるため、評価対象指標数は203となっている。

※矢印は、「B+」以上の評価の割合について、H26年度実績を同様の区分で評価した場合の評価結果と比較したもの。

# 評価結果

## 1 総括評価

- 目標値を達成した「A」評価が83指標で全体の40.9%、概ね期待した成果が得られたと考えられる「B+」評価以上が111指標で全体の54.7%となった。
- 3つの目標別では、全てで「B+」評価以上が50%を超過しており、特に「活力あるいばらきづくり」については、4つの政策分野中3分野が昨年度(平成26年度評価結果)を上回り、全体でも昨年度を6ポイント上回る56.0%となった。

## 2 目標別評価

### ① 住みよい いばらきづくり (評価指標数：70)

「A」評価が「いばらき出会いサポートセンター利用者等の成婚者数」など28指標(40.0%)、「B+」評価以上が37指標(52.9%)となった。

政策別では、「安全で安心して暮らせる社会づくり」が、「治安の悪化を感じている県民の割合」や「通学路の歩道整備率」が5年連続で「A」評価となるなど、「B+」評価以上が11の政策分野中最も高い78.6%となった。

一方で、「みんなで取り組む地球にやさしい環境づくり」は、「霞ヶ浦(西浦)の水質(COD)」が「B」評価、「北浦の水質(COD)」や「温室効果ガス排出量」が「C」評価にとどまったことなどから、「B+」評価以上が11の政策分野中最も低い27.3%となり、自然環境の保全に力を注いでいく必要がある。

その他の指標では、「医師数」が「B」評価、「就業看護職員数」や「保育所の待機児童数」が「C」評価にとどまっており、安全・安心で質の高い暮らしを創造していくためには、医師・看護師等の養成・確保や地域医療の充実、子育て対策の強化などを進めていく必要がある。

### ② 人が輝く いばらきづくり (評価指標数：58)

「A」評価が「ほとんど毎日お手伝いをしている小学校1年生の割合」や「高齢者雇用率」など23指標(39.7%)、「B+」評価以上が32指標(55.2%)となった。

その他の指標では、「四則計算(小6・中3)」や「漢字の読み・書き(中3)」の平均正答率が5年連続で「A」評価となるなど、児童・生徒の学力の向上が着実に図られてきており、引き続き「イノベーション大県いばらき」を支える人材の育成に取り組んでいく。

### ③ 活力ある いばらきづくり (評価指標数：75)

「A」評価が「工場立地件数」や「従業者1人当たり製造品出荷額等」など32指標(42.7%)、「B+」以上が42指標(56.0%)となった。

その他の指標では、「観光地点等入込客数」や「就航路線数(国際線)」が「C」評価から「A」評価に上昇するなど、2段階以上評価が上がった指標が7指標となった。

一方で、原発事故などの影響により「東京都中央卸売市場における県産農産物シェア」や「特用林産物生産額」などが「C」評価にとどまっており、引き続き風評被害の払拭に取り組んでいく必要がある。

未来を支え切り拓く産業を創出していくために、科学技術の集積を活かしたイノベーションを推進するとともに、引き続き企業誘致や中小企業の成長分野への進出支援、農林水産業の成長産業化などに力を注ぎ、競争力ある産業の育成や雇用の確保を図っていく必要がある。